

削減目標の設定方法について

佐賀県 脱炭素社会推進課

削減目標

- ▶ 削減目標を設定するにあたっての各種ベンチマークは国、自治体、イニシアチブなど参照先が多岐にわたります。
- ▶ まずは佐賀県の2030年度（2013年度比）目標である47%削減を目標とすることを推奨します。ただし、各企業さまの事業内容により、実行可能な削減取組みに差がありますので、佐賀県の削減目標以上の目標が必須ではございません。まずは、削減目標・削減計画を設定し、削減行動を実行することが大切です。
- ▶ なお、2013年度比47%削減目標であることから、2030年度までの17年間に於いて毎年約2.8%の削減目標とするとも言換えることが可能です。例えば、2024年度のデータを起点として2030年度までにあと6年間あることから、2030年度（2024年度比）目標：16.8%とすることもありえます。**自社に合った無理のない目標をご設定ください。**

発信元	概要	削減目標
COP28	1.5℃目標達成のために、世界全体のGHG排出量を2025年までにピークアウトさせ、2030年までに43%、2035年までに60%を排出削減する必要性を認識。2025年までに各国に野心的な2035年目標の設定を求める。	60% (2025→2035)
SBT	年間4.2%以上の削減。	4.2%/年
日本	2050年カーボンニュートラルを宣言し、中期目標として2030年で2013年比46%減を設定※。 ※2024年12月に公表された第7次エネルギー基本計画原案によると、2040年に13年度比で73%の削減が想定されている。	46% (2013→2030)
佐賀県	第4期佐賀県環境基本計画の削減目標では2030年度までに温室効果ガス排出量を約47%削減（2013年度比）	47% (2013→2030)

第4期佐賀県環境基本計画 抜粋

<佐賀県の温室効果ガス削減目標>

○2030（令和12）年度の総排出量を2013（平成25）年度比で約47%削減を目指します。

（47%減の内訳）

- ・これまでの取組の継続的な実施による削減・・・・・・・・・・33%削減
（原発の再稼働、再生可能エネルギーの導入促進、家電買替促進、森林による吸収など）
- ・再生可能エネルギーの更なる導入促進による削減・・・・・・・・7%削減
（再生可能エネルギーの普及・啓発など）
- ・省エネルギー等の促進による削減・・・・・・・・・・7%削減

その他の設定方法について

- ▶ 目標設定については、売上高あたりや部門単位での設定等、自社の事業内容や目的に応じて選択することが重要です。

例 1) 売上高あたりの排出量を〇〇%削減

	2024年度実績	2030年度目標	比
売上高（億円）	100	150	+ 50%増
排出量（t-CO2）	20,000	25,000	+ 25%増
売上高あたりの排出量（t-CO2/億円）	200	167	▲17%減

例 2) 部門単位での目標設定

製造部門 佐賀合材工場、鹿島合材工場	建設部門 社屋、工事現場
1年度ごとに 1%削減	2030年度までに 30%削減 (2021年度比)

※「SAGAネットゼロ・コンソーシアム」HPより引用)